

事前評価報告書

令和 2 年 1 0 月 5 日 (月)

研究種別	総理研研究	
研究課題名	山梨の自然環境を活かした水稲高品質栽培法の開発	
研究期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	3.5
2	研究内容の新規性	3.5
3	研究目標、研究計画の妥当性	3.0
4	研究予算、研究体制の妥当性	3.0
	総合評点	3.3
[評価所見]		
<p>地球温暖化が進む中で、本県農業の基幹作物のひとつである水稲の競争力の維持強化に資すると期待される。</p> <p>農業用水等からの天然養分としてのケイ酸に着目したのは新規性があり、その天然供給量マップの作成は意義がある。</p> <p>目的設定と研究計画は妥当である。</p> <p>地域の自然環境を活かした農業の推進は大切であり、想定される受益農家数が数千と多いため、計画に沿った成果の獲得が期待される。</p>		